

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 札幌のぼりべつ交流プラザ
-------------------	---------------------------

区分	番号	名 称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	3	活力ある地場産業の育成
小分類	1	新たな事業展開の促進
主要な施策	3	販路開拓への支援
事務事業番号	002	事務事業コード 31313002 事業開始年度 平成 8 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	札幌のぼりべつ交流プラザ開催経費
------	------	------------	------------------

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 札幌のぼりべつ会及び市内経済関係者
手 段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 札幌のぼりべつ会の総会にあわせ、交流プラザ(情報交換会)を開催し両市の経済関係者との情報交換を行う。
目 指 す 姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 登別市にゆかりのある札幌在住の経済関係者との情報交換を通じて、市内企業等とのネットワークを構築しビジネスチャンスの拡大を図る。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	交流プラザにおける情報交換 テーマ設定件数	件	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	4				
	交流プラザ参加者数	人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	29				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	5	71	71	71	71	213
合 計				5	71	71	71	71	213
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	377	464			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		377	464			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 札幌のぼりべつ会と市内企業とのネットワークを構築し、札幌圏との経済交流拡大を図ることが出来るため、市が実施することは妥当と考える。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 地場企業等の札幌圏マーケットの拡大等が図られている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 異業種交流を積極的に推進し、情報交換等を促しながら、地域資源を活用した商品開発や販路拡大を図ることで少しでも向上させることが出来る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 札幌のぼりべつ会は、事業等の実施を会員の会費などにより行っているが、経済交流等を促進するため行政の連絡調整等も必要なことから、今のコストを削減することは難しいと判断している。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	情報交換会・交流会等において、相互交流が図られている。今後も、経済交流や異業種交流等を積極的に行うことで、地場産品等の販路拡大や市内経済の活性化に繋がっていくため、本事業を継続する必要がある。
----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）